

令和7年度

わかやまスクールパワーアップ事業実績一覧

小学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
地域の宝を伝えよう！ 「名草小学校歴史展示室」作成プロジェクト	歴史展示室作成プロジェクト チーム	和歌山市立 名草小学校	名草小学校に保管されている名草地区で使われていた昔の道具などを地域の歴史資料として学校に展示し、展示室として地域の方や保護者の方にも開放した。
有功の未来をもっとよくなる5風隊	有功の未来をもっと良くする5風隊	和歌山市立 有功東小学校	児童と教員が協力して地域住民への全戸アンケートを実施し、有功の魅力や課題、地域の方々の願いを把握した。その結果をもとに、5年風組「5風隊」の児童が地域をよりよくするために自分たちにできることを考え、多様な実践活動に取り組んだ。
山口体力アッププログラム	山口スクールパワーアップ運営委員会	和歌山市立 山口小学校	こどもたちが運動の楽しさをより味わうことができる授業づくりを目指し、専門知識を有する指導者に体育科の授業に関わってもらい、こどもの体力の向上を図った。
きらきら わくわく エンジョイ 3年	輝く未来へプロジェクト	橋本市立 応其小学校	ふるさと学習として、校区探検・柿渋体験・凧づくり・しょうゆ出前事業・味噌作りの体験を行った。また、社会見学やこれらの体験を通して、新しく疑問に思ったことを課題とし、インタビューをしたり図書を使って調べたりして、新聞を作成し発表した。
岩小リバーサイドランウォーク	岩出小学校リバーサイドランウォーク実行委員会	岩出市立 岩出小学校	1年生から5年生の縦割りチームに、地域の参加者をそれぞれ加え、龍門山と紀ノ川を望む河川敷約1.6kmを歩き、チェックポイントでの課題に協力しながら取り組む、岩小リバーサイドランウォークを行った。

小学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
山北学園祭児童参画プロジェクト	山北学園祭実行委員会	岩出市立山崎北小学校	山北学園祭児童実行委員会を立ち上げ、山北学園祭を共に運営する児童を募集し、模擬店やブースの看板・店舗作成や当日の運営を行った。また、児童が練習してきたダンスや歌を舞台上で披露する場を設けた。
近隣保育所との交流	中央小スタカリプロジェクトチーム	岩出市立中央小学校	近隣保育所の年長クラスのこどもたちを中央小学校に招待し、1年生の児童が読み聞かせを行った。また、じゃんけん列車などの遊びを通して交流を深めた。
稲作とSDGs	かもがわっこスクール パワーアップチーム	海南市立加茂川小学校	講師の方からSDGsの視点を取り入れた棚田再生等について学び、現地で植物や小魚・昆虫を観察・採集し、自然観察を行った。また、田植えや稲刈り体験を行い、実ったお米を実食し、学習したことを通信等で発表した。
郷土に学ぶ防災・減災教育 ～濱口梧陵の精神と都市型災害の教訓を未来へ～	いしかき防災MASTERS	有田川町立石垣小学校	「出張！ 減災教室」で、防災の基礎知識を学び、防災バッグを使用して体験的に学習した。また、防災未来センター、稲むらの火の館や県土砂災害啓発センターの見学をした。有田川町消防本部の協力を得て、防災マップを作成、研究成果をまとめ、石垣公民館へ展示し、地域等に向けた発信を行った。
「ししわかまる」で1UP！	鳥屋城「ししわかまる」プロジェクト	有田川町立鳥屋城小学校	金屋営農センターや地域の方々の協力を得ながら「ししわかまる」を有名にする取組を行った。ししわかまるを育て、レシピ開発を行い、ファーマーズマーケットで料理を振る舞うなどのPR活動を行った。

小学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
ふるさと学習 充実事業	八幡小学校 パワーアップ 運営委員会	有田川町立 八幡小学校	あらぎ島景観保全保存会や地元JA等の協力を得て、「あらぎ島」での米作り体験を行った。秋祭りやあらぎ島を開拓した笠松左太夫氏、笠松氏が広めた紙漉き体験等、ふるさとの学習を行った。また、地域伝統の和太鼓「しみず温泉阿氏河太鼓」を地域の演者を講師に迎え、運動会、地域の祭りで演奏した。
やまびこ太鼓 演奏活動	美山小学校 パワーアップス クール 委員会	日高川町立 美山小学校	昨年度開校した本校では、一昨年度で閉校した学校で行っていた和太鼓の取組を引き継いだ。その成果を令和7年度第39回近畿へき地教育研究大会和歌山大会の分科会と1月のジュニア文化フェスティバルで発表した。
津波避難タワー探検 プロジェクト	会津小学校3年つ くし会 津波避難タワー 探検隊	田辺市立 会津小学校	災害時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができるような児童の防災対応能力の向上を目指した。その一環として、田辺市内の避難タワーの見学、防災関係者の話の聞き取りや防災グッズや避難所で快適に暮らせるグッズを作成し、発信した。
上芳養小学校創立 150周年記念事業 「まなびのいりぐち」 プロジェクト	上芳養小学校 150周年記念 事業実行委員会	田辺市立 上芳養小学校	森林体験学習で学んだ「あかね材」を活用し、地域と児童が共働して、本校玄関ホールのラーニングコモンズ「まなびのいりぐち」に設置する椅子及び本棚の製作を行った。
田辺東部小学校 世界遺産学習 充実プロジェクト	田辺東部小学校 世界遺産学習充実 プロジェクト 委員会	田辺市立 田辺東部小学校	三里小学校との交流を通してつながり、互いの地域について学んだ。また、語り部の学習では、三里小学校の語り部を聞きながら、熊野古道を歩き歴史や人々の思いに触れ、ふるさとや世界への関心を広げ、主体的に学ぶ力の育成することができた。

中学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
和歌山市加太地域をテーマとしたゲーム制作プロジェクト～地域学習プロジェクト～	加太スマイル・地域活性化グループ	和歌山市立加太中学校	ゲーム制作教材を用いてプログラミングを行い、和歌山市加太をテーマにしたゲームを制作した。また作品を一般に公開するとともに、本取組について発表を行うことで「加太の魅力」を社会に発信した。
吉備中学校活性化事業	吉備中学校活性化事業運営委員会	有田川町立吉備中学校	社会福祉協議会やボランティアの方々と共に「クリーン有田川運動」への参加、職場体験学習の新規事業所の開拓、部活動支援員の発掘等を行った。有田中央高等学校と連携し、農作物の栽培から販売体験までを実践した取組にて、「令和7年度和歌山県食農教育支援」の優秀賞を受賞した。「吉備中だより」、「吉備中だより地域版」を配布し、学校の取組の広報活動を行った。
地域まるごと家族計画	ちいきいきいき石中プロジェクト委員会	有田川町立石垣中学校	地域の方から秋祭りの太鼓、郷土料理(なれずし作り)などを学んだ。また、小学校や老人クラブと共に、地区別清掃活動を計画し、実践した。地域の方と交流の中で、ふるさとについて考える機会となった。
enjoy! あきんどカーニバル2025	あきんどカーニバル2025参画委員会	みなべ町立南部中学校	みなべ町商工会主催で実施される「あきんどカーニバル2025」(会場南部高等学校)に出店する内容を企画立案し、南部中学校学校運営協議会委員に対し、プレゼンを行った。当日は、ユニフォームを揃えて物販やパフォーマンス等で参画した。また、その様子を動画にまとめ、学校運営協議会、保護者や地域の方に見ていただいた。

中学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
富中2030+	富田中学校 スクールパワー アップ運営委員会	白浜町立 富田中学校	地域の企業より講師を招聘するとともに白浜町内の事業所で職業体験を実施した。白浜町社会協議会と富田中学校育友会とともに「とんフェス」という夏祭りを計画し、開催した。イベントの準備や当日運営を通して、やりがいや地域の一員としての当事者意識の向上など多くの学びを得た。

高等学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
児童生徒を中心とした地域住民へのICT技術普及事業	ICT技術普及 運営委員会	紀北工業 高等学校	地域の公民館などの団体や科学ボランティア活動を通じて、小学生向けにブロック型プログラミングアプリケーションで、ドローンを飛行させるプログラミング講習を行った。
「つながる貴志川いきいき事業」	つながる 貴志川実行委員会	貴志川 高等学校	紀の川市社会福祉協議会と連携し、居場所カフェの運営した。また、紀の川市役所と連携し、花いっぱい運動や間伐体験等を行い、自衛隊等と連携して「高校生防災スクール」に取り組んだ。小学生に理科実験教室を行ったり、こども園などに絵本よみかたり出前講座も行ったりした。
きれいな小倉地区を存続させるとともに、より活性化するように盛り上げる各種事業	小倉地区活性化 委員会	和歌山 高等学校	年に数回、和歌山高等学校生徒が主体となって小学生と共に地域の美化・清掃活動を行ったり、資源ごみの集団回収を行ったりした。寺山古墳群への道を整備する事業を行い、さいtubeへ動画を投稿した。

高等学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
紀伊小倉音楽祭 2025	紀伊小倉音楽祭 実行委員会	和歌山 高等学校	和歌山高校周辺地区と和歌山高校の活性化を目的として、企画・運営に和歌山高校生が積極的に関わり、紀伊小倉音楽祭を開催した。
継続的な生徒への性 教育推進のための個 別相談会	学校保健委員会	和歌山 高等学校	月に1回、助産師による性教育の個別相談会を開催した。文化祭で助産師と保健委員会が連携し、保健ブースを設けた。和歌山県立医科大学看護学部の学生と連携し、健康教育講座を開催した。
南高ヒューマンコネク トプロジェクト	南部 元気いっぱい 活動委員会	南部 高等学校	園芸・加工流通コースの「商品開発及び販売活動」では、菌類について学ぶため、原木シイタケの植菌体験学習を行った。また、外部講師を招き、キャリア講話・食品マーケティングに関する講習を行い、店舗を運営している専門家から食品の製造について学んだ。調理コースでは、「スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ」に出場し、最優秀賞を受賞した。
第4期神島塾 (地域について学ぶ集 中講座)	「神島塾」 実行委員会	神島 高等学校	たなべ未来創造塾の塾生を中心に12名の講師を選定し、田辺市と日本政策金融公庫の協力を得て、ワークショップを行った。また、参加者が関心を持った地域課題についてまとめ作業を行った。
宇宙教育推進公立高 校による連携強化事 業	串本古座高等学校 宇宙教育推進部	串本古座 高等学校	「宇宙」を設定する公立高校(大分国東高校、北海道大樹高校、串本古座高校)3校による連携関係の強化を図ることを目的に、北海道帯広市および大樹町で開催された北海道スペースサミットへ宇宙探究コース生5名が参加した。

高等学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
すべての命を救うプロジェクトpartVI ① AEDハートフルシートで持続可能な社会へ ~JR東日本主要駅への設置~ ② フェーズフリー商品の開発 ~新しい防災コンセプト~ ③ 牟婁の海を守る ~麦わらストローの商品開発と販路開拓~	熊野高等学校 Kumano サポーターズリーダー協議会	熊野 高等学校	AEDシート製作では、製作・改善・納品のサイクルを継続的に実践し、多様な施設への導入を進めた。廃棄傘を活用したアップサイクル商品開発にも取り組み、フェーズフリーの新たな防災概念を提案した。麦わらストロープロジェクトでは、調査から商品化・販路開拓まで一連の循環を構築し、旅館組合への納品や行政・大学・企業との連携強化など、地域産業との協働を深化させることができた。
高校生とつくる！ 地域共同Win-Winプロジェクト3	地域共同 Win-Win プロジェクトチーム	新翔 高等学校	市町村や地元企業と共同し、高校生のアイデアを生かしながら、地元の特産品を使った商品(「しらすせんべい」「しらす梅せんべい」「しらすクルンジ」「ジビエカレー」等)の開発や販売を行った。また、紀州材を使用した木製製品作り、レザークラフト体験ブースの運営など、昨年度の取組を継続した取組も行った。

特別支援学校

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
”もっと”いい和盲に ～点字考案200周年！今こそ和盲の出番～	和歌山盲学校 学校運営協議会	和歌山盲学校	本校育友会や地域の方、学校運営協議会、本校教職員と協力して点字バッグや啓発グッズの作成した。また、作成した展示バッグや啓発グッズは、文化祭で配布したり、「高校生マルシェ」等で販売したりした。3月18日の「点字ブロックの日」にあわせて、点字ブロック啓発キャンペーンに取り組んだ。
障害の重い生徒が、 地域との関わりを通して自分のよさを発揮できる取組	紀伊コスモス高等部 作業向上委員会	紀伊コスモス 支援学校	作業学習において、リヤカーを引き、地域をまわる空き缶回収や缶つぶし活動を行ったり、お礼の手紙を作り手渡ししたり、ポストに入れたりする取組を行った。
みはま ”be yourself“ プロジェクト② ～美浜(ちいき)で育つ みはまの子～	TEAMみはま	みはま 支援学校	地域の外部講師や関係機関の力を借りながら、野外音楽会や陶芸ワークショップ、調理師による出前事業「ラーメン屋を開こう」等、児童生徒が自分のよさや可能性を新たに引き出すことができる学びの場を学校内外に設定した。また、三尾地区の歴史を知り南米文化を学習する中で、自分たちが今できることを改めて考える機会を設けた。

複数の学校での取組

事業名	申請団体名	学校名	取組内容
過疎地域における保小中高と地域が連携して取り組む教育活動の充実	しみず学園	有田川町立 八幡中学校 八幡小学校 清水こども園 有田中央高等学校 清水分校	「清水こども園夕涼み会」「しみず学園芸術鑑賞会弦楽四重奏によるミュージックフェスティバル」を計画した。花植の活動に取り組むため、園内各所の環境を整えた。地域の方や有田中央高等学校の生徒達とチューリップを植える活動を行った。
W(ダブル)クリーンプロジェクト	岩出市立小中学校 合同地域清掃活動 推進委員会	岩出市立 岩出第二中学校 上岩出小学校 中央小学校 根来小学校 山崎北小学校	岩出第二中学校区において、生徒会と校区の児童会を主体に、有志児童生徒、学校支援ボランティア、地域ボランティアが参加する合同地域清掃活動を行った。
高野口マルシェ	高野口マルシェ	きのかわ支援学校 伊都中央高等学校 紀北農芸高校	地域農家や企業、近隣の高校、保護者、福祉作業所と協働し『高野口マルシェ』を実施し、(児童)生徒が、自己他者理解、コミュニケーション力等の職業生活、社会生活力を高め、地域の方々が本校の取組について理解を深めた。また、伊都中央高校と本校マーケティング班のコラボカフェ「わかのいと」を開催した。
笠高マルシェ	笠高マルシェ 実行委員会	笠田高等学校 紀北農芸高等学校	かつらぎ町地域包括支援センター等と連携・協働し、かつらぎ町内「道の駅」やアンテナショップ等で「笠高マルシェ」を開催した。また、認知症カフェの運営に参画するとともに「まったりcafe」を開催し、地域の方々との交流を通じて地域理解を深めた。